

## 第 11 班

1. タイトル：農業・農村の自立に向けて ～平成の農業所得倍増計画～
2. 報告書の概要：農業・農村の自立のためには、農業経営の基盤である農地と人が共に確保されていることが前提であり、集積された農地と意欲ある担い手が効率的に組み合わせられることが必要である。先進地事例調査や各都道府県へのアンケート調査の結果等から、農業経営者が「儲かる農業」を実践するための条件整備を行政がサポートすることが農業・農村の自立に必要であるとの結論に至った。このような考え方の下、農業・農村の自立に向けて次の提言を行った。①就農支援組織（担い手バンク）の構築、②6次産業化による付加価値化、③農業大学校における研修教育の充実、④卒農の導入による農地集積
3. 引用している事例：①株式会社 百姓隊（現地調査）、②株式会社 さかうえ（現地調査）、
4. アンケート調査の有無： 有